

# 風対策資料

## 風対策

住宅用雨どいの風対策には、

**「金具の取り付け間隔」と「軒どいの取り付け位置」がポイントとなります。**

強風地域の区分けは（国土交通省告示）地域係数（下図）で表します。風の強さは同じ地域でも、海岸の近くと奥、崖の上と下では違います。また、建物の形状でも違ってきます。

そして、年中台風を進路になる地域も風に対する対策が必要です。風による軒どいのはずれ、金具の曲折などのトラブルを防止するには、地域、建物の高さに応じて「金具の取り付け間隔」を考慮します。

### 軒どいの風圧力計算

●風圧力を求める公式（建築基準法施行例第87条）

$$W=C \times q \times A$$

W：軒どいの受ける荷重（kg）

C：係数（軒先は1.5とする）

q：単位面積の風圧力（kg/m<sup>2</sup>）

A：風荷重を受ける軒どい底面積（m<sup>2</sup>）  
=軒どい底幅（m）×金具間隔（m）

●風圧力計算の建物の高さによる違い

・16m以下の場合  $q=60\sqrt{H}$

・16m以上の場合  $q=120^4\sqrt{H}$

《H：地面からの高さ（m）》

●（例）軒どいM型120の場合

$$W=60\sqrt{16} \times 1.5 \times 0.112 \times 0.6$$

$$=24.2\text{kg}$$

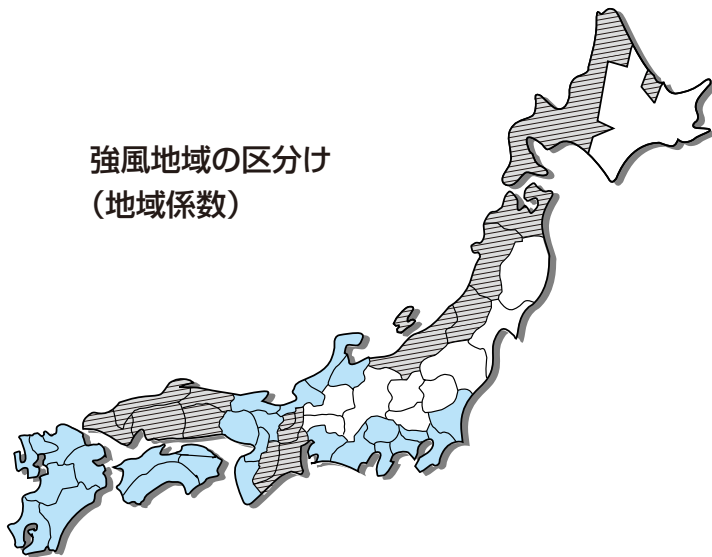
H：軒どいまでの高さ16m

C：1.5

軒どい底幅：0.112m

金具間隔：0.6m

強風地域の区分け  
（地域係数）



区分	表示	海岸より8kmまでの地域	海岸より8kmを超える地域
1		1.0	0.8
2		0.8	0.65
3		0.6	0.6

### 金具の取り付け間隔（吊り金具、受け金具）

※地域、建物の高さに応じて金具の間隔を決める

地面からの高さ		9m以下 (3階建て以下)	9~16m以下 (5階建て以下)	16~31m以下 (10階建て以下)	31m以上 (11階建て以上)
風圧力q (kg/m <sup>2</sup> ) (地域係数1.0)		H=9m 180	H=16m 240	H=31m 283	別途相談
金具 取り 付け 間 隔	1.0地域	600m以下	450m以下	300m以下	
	割増係数1.2地域	450m以下	300m以下	300m以下	
	0.8地域	600m以下	450m以下	450m以下	
	割増係数1.2地域	600m以下	450m以下	300m以下	
	0.65、0.6地域	600m以下	600m以下	450m以下	
	割増係数1.2地域	600m以下	450m以下	450m以下	

■環境割増係数

沖縄県及び、島、海岸からの距離1km以内、山頂、高台、崖の上など、局地的に風の強い場所は、地域係数に1.2を乗じて補正する。